

平成27年度 医動物・種類同定検査のまとめ(4～6月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

平成27年4月から6月の種類同定検査件数は、13件でした。内訳は昆虫類1件(コウチュウ目1件)、その他の節足動物12件(クモ目11件、ダニ目1件)でした。

主な検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
台所の網戸に虫が多数ついていた	 <p>成虫、茶褐色、約2.5mm</p>	アズキゾウムシ (コウチュウ目)	成虫は貯蔵中のアズキの表面に産卵する。幼虫は豆の中に食い入って成長する。アズキ、ササゲ、エンドウなどを食害する。
施設内側溝にクモがいた	 <p>雌成体、黒色、赤色の斑紋あり、約10mm</p>	セアカゴケグモ (クモ目)	オーストラリア原産の特定外来生物。港湾地域や隣接地で多く発見されている。攻撃性はないが、触れると咬まれることがある。多くは軽症だが、まれに重症化する。
ビル敷地内の水道メーター内にクモがいた	 <p>雄成体、茶褐色、約5mm</p>	ヒメグモ科の一種 (クモ目)	形態的にも生態的にもさまざまなタイプを含む。空間に造網する種が多い。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
工場周辺でクモを発見した	 <p data-bbox="395 622 740 696">成体および幼体、5～8mm、9個体</p>	その他のクモ (クモ目)	クモ類の生活の場は、地中、地上、家屋内のなど多岐にわたる。主に昆虫を捕食し、農業害虫や衛生害虫の天敵である。網を張る種類と網を張らない徘徊型の種類がいる。
寝室に小さな虫がいる	 <p data-bbox="395 1010 740 1048">成体、赤褐色、約0.5～1mm</p>	イエダニ (ダニ目)	本来の宿主はネズミであるが、人も頻繁に吸血する。本種に刺された場合、激しい痒みを伴う小発赤・皮疹を起こす。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】